

IUBS 分科会(第 25 期第 3 回)

議事要旨

日時：令和 3 年 8 月 2 日(木) 15:30-17:00

場所：オンライン会議(Zoom)

出席者（敬称略）：武田洋幸、三村徹郎、窪川かおる、高田まゆら、西田治文、村上哲明、渡辺京子

欠席者：吉田丈人

議題

(1) I U B S 第34回総会準備について

- ・ 場所と期日 中央大後樂園キャンパス 2023年3月10日（金）～12日（日）
- ・ 大会スローガン
- ・ プログラム
 - 1) IUBSシンポ
 - 2) 学会共催シンポ
 - 3) 公開講演会
 - 4) 懇親会
 - 5) その他イベント 小石川植物園, 科博,
 - 6) 委託業者 JTB, KNT, NTAなど
 - 7) その他
- ・ 役割分担

(2) I Y B S S D 連絡会議準備状況について

(3) その他

- ・ 国際対応分科会年次報告の提出
- ・ 国際ユニオン交流会 2021.8.2
- ・ 国際対応委員会と国内対応分科会委員長との意見交換会
- ・ 加入国際学術団体調査（9月30日締切）

- 資料：
- ・ 第二回分科会議事録
 - ・ IUBSGA 準備スケジュール案 210802.xlsx
 - ・ 準備メモ 210708.docx
 - ・ 国内対応分科会委員長等との意見交換.pdf

- ・国際ユニオン交流会資料.pdf
- ・別添1 加入国際学術団体に関する調査票（令和3年改定版）.docx
- ・過去GA報告と資料（4部） 学術会議HP, オスロ, ベルリン, ケープタウン

議事

（1）IUBS第34回総会準備について

・場所と期間：中央大後楽園キャンパスにて2023年3月10日（金）～12日（日）開催と決定した。実際は前日も準備のために施設を使用する。

・大会スローガン：準備メモ210708.docxの2-2を参考に検討。テーマ案は、IUBSの事業継承を意識しながら案を煮詰めてメールベースで早めに決定する。重要なキーワードとして教育、生物多様性、生物多様性情報、環境変動、健康など。副題を付けてもいいだろう。

たとえば、Unifying Biology for the Next Century – Changing Earth and Human Life

・プログラム：準備メモ210708.docxの2-3を参考に以下の通り検討。

1) IUBSシンポ

Keynote speakerを早く決める必要がある。候補はNils Stenseth氏（ノルウェー、元IUBS会長）、山極壽一氏（地環研）、川北篤氏（東大）等。

日本学術会議の主催で行うが、発表メンバーによっては他の学会も共催に。

2) 学会共催シンポ

3時間程度（午前開催の場合9時開始、ブレイク一回、12時30分終了が目安）。希望により午前と午後の1日開催も可能。

各学会の進捗状況報告

動物学会：特に動いていないが、メインテーマが決まり次第依頼する。植物学会：協力依頼済み、生態学会：協力依頼済み、農学系学会：植物保護連合（昆虫、害虫、雑草分野）に声をかける予定、IUGS：これから協力依頼予定、海関係の学会：窪川から協力依頼予定。

シンポ開催の予算を獲得する努力が必要。最悪各学会に負担してもらう場合もありうる。

3) 公開講演会 可能であれば検討。IUGS（地質科学連合）などと共催して古生物も入れたテーマもありうる。

4) 懇親会 今後審議する。

5) その他イベント

エクスカージョン：東大小石川植物園が候補。川北氏に協力を依頼。

6) 委託業者

IUBSGA準備スケジュール案210802.xlsxを参考に検討。JTB, KNT, NTAなどに依頼予定。業者にはビザ発行や登録、当日受付補助等を依頼。

7) その他

・役割分担：具体的な分担については今度検討。

・シンポジウムのオンライン併用開催について検討。

・ポスター発表：IUBS プロジェクト関係のポスターがいつも出されているので、それで十分ではないか。各学会から広く公募することはしない。また、オンライン掲載はしない。懇親会やコーヒースタイルの際、協に掲載して議論するのがこれまでの標準スタイル。

・1st circular は 2022 年 3 月に出す。

(2) I Y B S S D 連絡会議準備状況について

武田、西田に加えて、生態科学分科会より酒井章子氏（京大）が参画予定。

(3) その他

・国際対応分科会年次報告：西田が作成して提出する。

・国際ユニオン交流会第一回：本分科会開催直前に ISC 分科会主催の表記 Zoom 会議があり、村上、西田が参加した。村上は ISC 分科会委員でもある。今後、団体間の交流プラットフォームが準備される予定。

・国際委員会と国内対応分科会委員長との意見交換会：国際委員会が非公式な意見交換会を 8 月 25 日と 27 日に開催する。武田は国際委員会副委員長として、西田は当分科会委員長として参加する。加入国際学術団体の見直し審査についての意見交換が主体。

・次回開催時期については 10 月以降となる予定。それまでにメール審議を随時行う。